



## 仁淀病院からのお知らせ



# 睡眠時無呼吸症候群の検査について

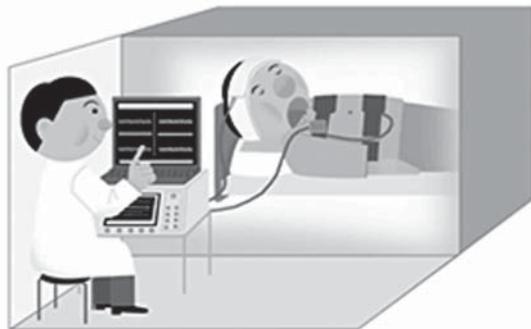
仁淀病院 耳鼻咽喉科 関 博之

睡眠時無呼吸症候群をご存じでしょうか。夜間眠っている間に息が止まってしまう病気です。日中いつも眠たかったり、居眠り運転をしてしまいそうになる、起床時頭痛やだるさを感じるなどが自覚症状です。しかし、経過が長いと自覚症状に乏しく、中には日中の居眠りを自覚していない方もいるので要注意です。治療しないで放置しておく、高血圧や心筋梗塞、脳卒中などの原因になるといわれ、寿命を短くしてしまう病気の一つにあげられています。ただし、治療方法も確立されており、決して恐ろしい病気ではありません。この機会にご家族で、お互いの眠っている様子について話し合ってみるのも良いかもしれませんね。

いびきをかいていた人が急に静かになったときは、息が止まっている「無呼吸」の状態です。呼吸をしていないわけですから、身体の中の酸素濃度は下がります。その酸素濃度の下がり方は、日中我慢の限界まで息を止めても追いつかないぐらいの下がり方です。睡眠中にご自分がどれだけ苦しい状態になっているのかを知れば患者さんは皆さん驚かれます。意識があればあり得ない状態に夜間なっているわけです。



診断にはまず、ご自宅でできる簡単な検査がありますので、それをしていただきます。寝る前にセンサーを付けてお休みになっていただくのですが、誰にでもできる検査です。ご自宅での簡易検査だけで診断が付き治療開始となる場合もありますが、簡易検査だけでは治療方針を立てられない場合もあります。それは、簡易検査では眠りの深さ(熟睡の度合い)が調べられないからです。熟睡できているかは脳波を調べてみないと詳しくは分かりません。仁淀病院では、睡眠中の脳波まで調べられる睡眠時無呼吸症候群の検査装置を設置してあります。睡眠中の検査ですから、検査当日病院には18時ごろに来ていただき、朝目が覚めてしまえば検査は終了なので、その時点で帰っていただきます。結果は後日外来にて説明させていただきます。検査日も検査翌日も、日中の生活にあまり支障ないように検査予定を立てていますのでご安心ください。詳しくは仁淀病院耳鼻咽喉科にお問い合わせください。



### 歯科用レーザーによる治療

レーザー治療は歯科において幅広い分野で行われています。

①カリエス(虫歯)に対する処置としては、浅い虫歯の場合、穴が広がるのを予防するため、またはエナメル質の耐酸性向上を図るために、咬合(こうごう)面や歯面にレーザー照射を行います。その場合、フッ素を塗布してから照射という手段もあります。②知覚過敏(歯にしみる)に対する処置としては、歯髄への刺激を防ぐために、しみる部分にレーザー照射を行います。また、フッ化物を塗布してから照射するとより効果的です。③深い虫歯の場合、病的象牙質の除去を簡単にし、殺菌と残った歯の象牙質を強くするためにレーザー照射をします。神経(歯髄)が露出してしまった場合は、無圧下で露出した神経の止血作用と、殺菌作用による痛みの軽減を目的にレーザー照射を行い、治療効果が期待できます。

歯周病やインプラントに対しては次回述べたいと思います。 安光歯科 院長 安光 秀人

有料広告

詳しくはwww.yasumitsu.net  
まいたの町天王南2-1-1  
(サンプラザ西隣)

Tel. 891-6488

(医)大空会



安光歯科

インプラント・矯正歯科

インプラント専用受付電話

Tel. 891-6481

(日曜日無料相談受付中:要予約)